

(様式3)

事業所名 グループホームふきんと

目標達成計画

作成日: 令和 3年 12月 27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23 25 33	利用者様の単純な訴えに承えてしまうことで、本当に求めることをときとして見失う。 例: 食事でご飯を残したとき、本当は麺類が時には食べたいと思っていることを見逃し、ただ、食べたくないと理解してしまうケースがある。	職員全体が利用者様の真に求めることを探り、把握し、サービスにつなげていく。	日々の関わりの中での訴えや状況を受け止め、情報をICT共有し気付いた事柄についてはタブレットに残していくことで、情報の点を線につなげ、さらに面にしていくことで、利用者が真に求めることを職員が共通して認識できるようにする。	6ヶ月
2	4	運営推進会議の再開	コロナ禍が続き、この1年は「地域包括支援センター」の方とみの開催に留まった。 2022年度は定期開催を再開するとともに、より地域の方々との懇談を密にしていく。	家族代表、地区代表、民生委員、地域包括支援センター職員、ホーム関係者に再開の通知を行い、2ヶ月に1回開催を実現する。特に、ご家族については、できるだけ多くの家族にメンバーになっていただき、積極参加を図りたい。	4ヶ月
3	9	運営内容や重要事項に関する件を明文化していない点があった。	春以降の契約から、改訂版で契約を行う。	重要事項説明書を大幅に改定し、伝えるべきこと、説明すべきことは網羅する。特に、介護度の重度化や入院の場合、最適なサービスへの移行について家族に助言し、そのための支援を行えるようにしていることはわかりやすく記す。	2ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月